

<砂の芸術>

- 1 時間
80分
- 2 場所
渋川海岸
- 3 人数
200人程度まで
- 4 服装
帽子・体操服等の活動しやすい服・サンダル
- 5 準備物

青年の家が準備		()は数量	個人又は団体が準備	
個人	スコップ (プラスチック製)	(1)	個人	汗拭き用タオル (必要に応じて)
班	バケツ	(1)	団体	作品の完成予想図 (必要に応じて)

◎同研修時間に複数校が希望した場合は、用具の数を協議の上決定します。

- 6 その他
 - (1) 天候により研修を中止する場合がありますので、代替の研修を決めておきます。
 - (2) 班で事前にどんなものを作るか(設計図等)を決めておくとい欲的に活動できます。

【作品例】



7 研修の流れ

内容	時間(分)	研修生の動き	引率者の動き・留意点
集合・移動	5	○グラウンドに集合する。 ○用具を準備する。 ○砂浜に移動する。	○班ごとに集合させる。 ○安全に注意し、移動させる。
説明	5	○注意事項を聞く。	○以下の点に留意して実施する。 ◎カッターの研修場所から、50m以上離れて行う。 ◎研修場所の選定については、潮の満ち引きを考慮する。 ◎砂浜は60cm以上掘らない。 ◎用具を振り回さない。 ◎研修後作品は解体し、整地する。
制作	55	○設計図を見ながら班ごとに制作する。	○巡視をし、安全面に留意する。
まとめ	10	○制作後の感想を発表したり、他の班の作品の優れているところを発表したりする。	
片付け	5	○スコップは、足洗場で水洗いしてから、元の場所に返却する。 (1ケースに40本入れる。) ◎乾かさなくてもよい。	○帰所時は安全に注意して移動させる。

【砂の芸術マップ】

